

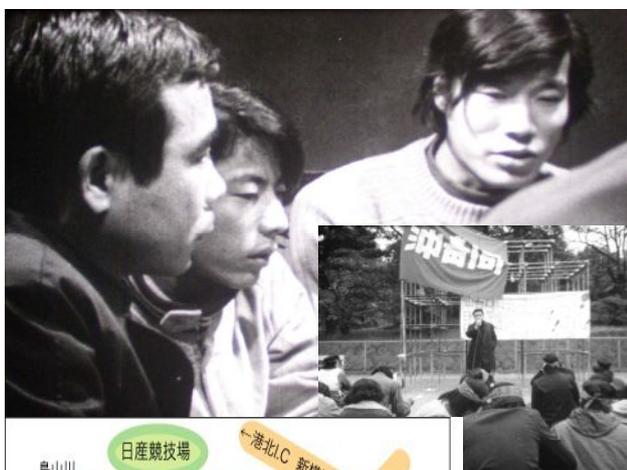
1609年薩摩侵攻から400年
1879年琉球処分から130年

09 連続講座〈沖縄・歴史と現在〉

ことし2009年は、1609年の薩摩・島津氏による琉球侵略から400年、1879年の日本国家による琉球処分から130年の節目の年にあたります。沖縄では本年1月30日にこの「400年」「130年」を「問う会」が結成されました。日米軍事再編と対峙し続ける〈沖縄からの問い〉に、どう日本（ヤマト）から呼応していくのか、〈沖縄・歴史と現在〉を学ぶことを通じて、考えたい。日本の〈アジアにおける侵略と戦争の近現代史〉を総括する視点を手放すことなく。そんな思いから、09連続講座を企画しました。参加を！

記録映画「反国家宣言～非日本列島地図完成のためのノート」

第1回 7月11日(土)



「反国家宣言」は、沖縄青年同盟の「沖縄語裁判闘争」からはじまり、非日本列島地図を描くように、大阪の沖縄人集落、一九七二復帰をはさむその前後の沖縄に移動、さらに八重山の台湾人移住者を訪ね、それから一挙に北へターンし北海道のアイヌへと至る旅の記録。七一九五年プロダクション屋製作、モノクロ16ミリ65分。貴重なフィルムを製作者のご厚意をえて横浜上映が実現！映画に登場する仲里さんには、歴史の証言と〈復帰II再併合〉を問う視点について問題提起していただきます。

一九七二「復帰II再併合」を問う



お話 仲里 効さん(映像批評)
7月11日(土)14時 スペースオルタ(新横浜駅7分)
前売券1000円(当日券1500円)

第2回 今秋(日程未定)

講演 田仲 康博さん(国際基督教大学教員)

18時半から 会場未定 会場カンパ500円

「占領が生み出した時空間に未だ囚われの身となっている沖縄において、今もっとも必要なことは、「復帰」の意味を問い直すことなのだ」(『イモとハダシ～占領と現在』社会評論社 2009 所収「琉球大学とアメリカニズム」から)。専攻は社会学・メディア論・文化研究。共著に『沖縄に立ちすくむ』(せりか書房 2004)『メディア文化の権力作用』(せりか書房 2002)など。

主催:沖縄の自立解放闘争に連帯し反安保を闘う連続講座

<http://www7b.biglobe.ne.jp/~okinawa-koza/>

沖縄・占領と現在